

はぐくむ
vol.86
2024年 9月号

開院 10 周年 健康フェスタを開催

リニアック 2000 日連続稼働で表彰
新型コロナ対応で大阪府知事より感謝状

パリ五輪で金メダル!岡慎之助選手と杉野正堯選手 (徳洲会体操クラブ)

● Take Free ●

ご自由にお持ち帰り下さい

開院10周年

吹田徳洲会病院・吹田徳洲苑

健康フェスタを開催

7月7日（日）の七夕祭りの日、吹田徳洲会病院・徳洲苑では開設10周年を記念した「健康フェスタ」を開催。過去のフェスタよりも多彩なイベントメニューを盛り込み、ヤングファミリーからご年配の方まで、吹田市民の皆さま、患者さまをはじめとする約1,200名が参加され、職員と和やかに交流し終日、楽しい時間をお過ごし頂きました。

楽しみながら健康・医療等を学ぶテーマパークとして定着

地下1階から3階を使用して、がん治療、救急医療、アンチエイジング、災害医療、介護の5つをテーマにした数多くのブースが設置され、市民が各専門医や看護師等の説明を熱心に聴き入る姿が各所で見られました。1階ロビーでは当院で活躍している手術支援ロボット「ダヴィンチ」の体験イベントを、また地下のホールでは「つながる、ぬりえ展」を開催。「つながる、ぬりえ」とは小学生の描いた「下絵」を、施設ご入居者が「色付け」して両者が「つながる」というもの。吹田徳洲苑にとっては初の試みとして、吹田市立東山田小学校、南山田小学校、山田第二小学校、摂津市立千里丘小学校の4校とともに催しました。

ステージイベントでは、午前から午後にかけて、“月心会”のキッズ空手、軽快なヒップホップ音楽に合わせた“ジャンプブラッシュ”によるダブルダッチ、続き“カパーフラオ・ホアロハ”の美しいダンサーがハートフルなメロディに合わせて軽やかに踊るハワイアンフラを上演、また関西大学文化会落語大学の「学生」落語家2名が創作落語を披露し、会場全体が温かい“笑い”の渦に。お後がよろしいようで❖。





◀ 来場者の歓声に手を振ってこたえる女優・タレントの向井亜紀さん



▲大阪府医師会フィルハーモニー有志と当院・当苑のスタッフによる演奏



▲カパーフラオ・ホアロハによるハワイアンフラ



▲エントランスではロボット手術「ダヴィンチ」の展示・体験が行われました

関西大学文化会落語大学による
「学生」落語家 ▶



がん克服の重要なポイントは 「早期発見」と「気の持ちよう」

続いては、大阪府医師会フィルハーモニー有志と、当院・当苑のスタッフが結成した、10周年スペシャルバンド「VI～VA！！」による演奏です。“一期一会”の混成オールスターズによるコンサートは、モーツァルトのクラシック定番で始まり、ワルツ、タンゴ、ボサノヴァまで多彩な楽曲が調和のとれたアンサンブル演奏で提供されました。

最後には北田文則副院長を司会に、子宮頸がん、大腸がん等の治療、闘病体験を持つ女優・タレントの向井亜紀さんによる特別講演「命を輝かせるために」を開催。向井さんは最初に、「人間には本来、124歳まで生きられるポテンシャルがあるとの話を聞いたことがあります。私は今年、還暦を迎えますが、まだその半分にも達していない。私は本日、来られた皆様の寿命を更に10年間延伸させたいとの思いで、ここに参りました」と口火を切りました。そして25年前、35歳の時に病院婦人科を受診し、妊娠が判明すると同時に子宮頸がんが発見。幾つかの手術を繰り返した後、子宮広汎全摘で手術が成功した一方、大きな精神的落ち込みや不安を経験しました。闘病プロセスにおける主治医や家族の支え、その後、肺がんを発症した実母の介護体験等も含めた様々なエピソードを紹介。がんを克服するためには、「早期発見」と患者自身の「気の持ち様」が最も重要なポイントと指摘し、治療後に主治医から「苦しい体験をされたあなたならば、がん患者さんの心を下支え出来る情報発信や啓発が可能だし、マザーキラーとも呼ばれる子宮頸がんの減少にも貢献できる筈」との一言に励まされ、「その後はポジティブに生きられるようになった」と話しました。





患者さんにとって安全で安心な治療を

放射線治療科より「連続治療2000日を達成」「藤原聖輝医師が学会の最優秀ポスター賞を受賞」という明るいニュースが届きました。

コントロールされた放射線を、がん細胞へ照射して破壊する放射線治療。この治療は、継続的に行うことが最も効果的ですが、治療機器である TrueBeam STx with Novalis (Varian社製) に不調が生じることもあり、そう簡単ではありません。そのような中、当院放射線治療科は今年6月末に2000日の連続治療を達成。榎谷隆史副技師長をはじめとするスタッフが、日々精緻なメンテナンスを行い優れた結果へと結びつけました。これは同機器を使用する全国の病院のうちでも10数施設しか達成していないものです。

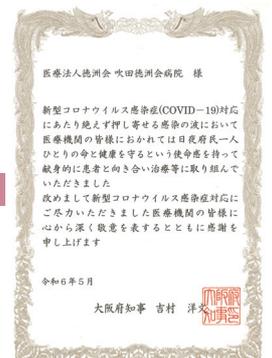
また、7月の骨軟部腫瘍学会において、当院の藤原聖輝医師が最優秀ポスター賞を受賞。

がんの骨転移治療は、効果を計る明確な基準がガイドラインにもなく、医師は効果を説明しづらい、患者さんも説明を聞いても分かりづらい、という現状にあります。藤原医師は、治療効果の判定に DWBS(ドゥイブス)の画像を使用することを提案。これが、他科の医師、そして何より患者さんにとって分かりやすいと評価され、最優秀ポスター賞が授与されました。



大阪府より感謝状をいただきました

2020年より猛威をふるった新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対し、外来診療や入院加療を行ってきたことについて、大阪府知事より感謝状をいただきました。



パリ五輪で金メダル! 岡慎之助選手と杉野正堯選手 (徳洲会体操クラブ) 大いに活躍

徳洲会体操クラブ所属の岡慎之助選手と杉野正堯選手が、パリ五輪・体操男子に日本代表として出場しました。当クラブは今年7月10日、86歳で逝去した徳田虎雄・医療法人徳洲会名誉理事長が“体操ニッポン”の復活を目指して創設したものです。岡選手は、団体総合と個人総合、また種目別における鉄棒で金メダルを、平行棒でも銅メダルを獲得。杉野選手は主将をつとめ、団体総合では3種目に出場、種目別で鉄棒、あん馬で入賞という活躍ぶりでした。



医療法人徳洲会
吹田徳洲会病院
06-6878-1110 (代表)

介護老人保健施設
吹田徳洲苑
06-6878-9100 (代表)

〒565-0814 大阪府吹田市千里丘西21-1
<https://www.suita.tokushukai.or.jp>